会長挨拶

古賀　誠

全国道路利用者会議　会長

総会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げたいと思います。

今日はあいにく、ご出席を予定していただいておりました、石井国土交通大臣が、誠に残念ながらこの総会にお越しをいただくことができませんが、日頃の当会議に対するご指導やまたご支援に対しまして、この機会に心からお礼を申し上げておきたいと存じます。

また、会員の皆様方には大変お忙しい中、ご参集をいただきまして第69回定時総会が盛大に開催することができましたことに、心からお礼を申し上げますと同時に、平素、各般の需要に対しまして会員の皆様方の積極的なご協力とご支援を賜っておりますことにあらためてお礼と感謝を申し上げます。

本年度の国家予算は97兆4，500億円余で、史上最大の予算規模だと言われておりますが、公共事業を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いております。公共事業全体の総額は5兆9，700億円余、うち国交省関係は5兆1，800億円余、その中で道路関係は4兆800億円余であります。皆様方が、満足出来る予算の確保ではないかと思いますけれども、この予算額を確保するのも、大変なご苦労が実はあっただろうと思います。国土交通大臣をはじめ、道路局の皆さん方のお力添えと国会議員の先生方のご尽力のおかげであります。当会議を代表いたしまして心から御礼と感謝を申し上げ、与えられた予算額を有効にかつ皆さん方の期待に応える執行をこれから果たしていかなくてはならないと考えております。

申し上げるまでもなく、東日本大震災、熊本地震、復旧と復興に本年度も全力を尽くしてまいりたいと考えております。また、高規格幹線道路、生活道路に至るまでの、絶え間ない国民の皆様の強い要請に、私どもは今後も応えていく使命を課せられていることを肝に銘じ、組織をあげて、一体となって道路整備の促進に本年度も全力を尽くしてまいる所存でございます。

同時に考えなければいけませんのは、全国道路利用者会議として、道路を利用される方々、自動車を利用される方々、道路管理者、こういった三位一体が国民の皆様方のニーズにどう応えていくのかということをこれから特に重要視していく必要があろうかと考えております。当会議といたしましても、それらの皆様方とさらに信頼を深め、連携を密にし、期待に応えていくという努力も今年度も重ねてまいりたいと考えております。

とりわけ今年は大事な年であります。道路財特法が、補助率のかさ上げ等、この措置の期限が今年度で切れるわけであります。これは極めて道路整備に対して大きな影響を与える課題であります。国会議員の先生方にご尽力をいただくことはもとよりではありますけれども、会員の皆様方の深い理解とご支援の中で継続に全力で向かって、今年は努力をしていく必要がございますので、さらなる結束とご協力を賜りますようにお礼を申し上げておくしだいでございます。

結びになりますが、当会議の長い歴史と伝統をもっております。時代の変化とともに、この会議の大きな方向を私どもが作り上げ、それに向かって全力を挙げていく必要があろうかと考えております。私ども役員一同、皆さん方の期待に応えて今年度も全力で様々な課題に取り組んでまいりたいと思いますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますように結びに心からお願いを申し上げ、ご挨拶といたします。

来賓挨拶

末松信介

国土交通副大臣

ただいまご紹介をいただきました国土交通副大臣を務めております、末松信介でございます。

今日は全国道路利用者会議第69回の定時総会ということで、会員の皆様、また関係者の皆様、大勢集まられまして盛大にこの会議が開催されましたことを心からお慶びを申し上げます。

昨年4月の熊本地震や8月以降、相次ぐ台風により豪雨災害が発生するなど、自然災害が多発いたしました。国土交通省といたしましても、まず、東日本大震災の1日も早い被災地の復旧・復興に向けまして、三陸沿岸道路の復興道路・復興支援道路を復興・創生期間における全線開通。そして熊本地震、国道57号の北側復旧ルートや阿蘇大橋ルートの平成32年度の全線開通を目指すなど、被災地の復旧と復興を加速させてまいりたいと思っております。

私は県会議員を20年程務めまして、今、参議院議員を務めております。私は建設行政というのは、守りの行政と攻めの行政の二つの形があると思っております。守りの行政は、河川改修、砂防事業、あるいは海岸事業、こうした事業はやっぱり守りだと思うんです。国交省の予算5兆7，900億円、しかしながら実は防災対策と社会インフラの維持管理だけで56％のお金を使っているということでありますから、随分、国交省の予算もそういった防災に使われる様になってしまったと思うんです。

それでは、攻めの行政は何かと言ったら、整備新幹線、都市の再開発、港湾の整備も入るでしょう。でも一番象徴的なのは私は道路だと思っているんです。私達は要望をたくさん頂戴いたします。一番多いのは道路で、受ける件数の5割を超えてると思います。従ってまだ作っていかなければならない道路はたくさんございます。財特法が切れますので、こういった事を考えながら、私たちは公共事業の予算を獲得していくための皆様方の支援を心からお願い申し上げたいと思ってございます。

私が県会議員の頃は、建設委員会というのは作るか作らないか、直すか直さないかという単純化した議論が多かったんです。でもこの20年間で随分変わったと思うんです。環境汚染、都市環境、バリアフリー、あるいはコミュニティ社会を大事にしていこうとか。こうした哲学、理念が入って来たのが正直なところだと思っております。道の駅をきちっと整備して充実させるというのは、時代の求めでございます。こうしたこともやはりきちんとしなければならないとそのように考えているところでございます。

人口減少化社会に入りました、2048年には1億人を割ってきます。日本としては、一人当たりの生産性をしっかりと上げていく、この事が大事だと思うんです。道路の分野においては、人手不足になってきているので、今、自動車局等が中心となりまして、隊列走行や、連結トラックという、出来るだけ少ない人数で大量のものが運べるような仕組みを作ろうじゃないかとか、自動運転システムも正にその一つではないかと思うんです。

道路局を中心にこれから一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので、皆様方のご支援、心からお願いし、そして本会がご盛会であったことを心からお祝い申し上げまして私のご挨拶にかえさせていただきます。

来賓挨拶

増子輝彦

参議院国土交通委員長

ただいまご紹介を賜りました、参議院で国土交通委員長を務めております、福島選出の参議院議員・増子輝彦でございます。本日は古賀誠会長を先頭に全国道路利用者会議第69回の定時総会が盛大に開催されましたことを心からお祝いを申し上げると同時に、この様にご挨拶の機会をちょうだいしたことに感謝と御礼を申し上げるしだいでございます。

私共、地元におりましてもそうでありますけれども、要望と言えばほとんどの要望が道路の整備促進であります。もうこれは全てそれだと言ってもいい程の実は要望が多い訳であります。

皆さんもこれから地域の発展、繁栄のためにそして何よりも利用者の皆さんのためには、常日頃、大変ご努力をされていることにあらためて敬意を表しながら、道路整備は日本の経済の中心でありますし、また、命の道でありますから、皆さんが今日、ここにお集まりになって、更なる予算の獲得に私どもと一緒にしっかりと取り組んでいただけることを心からお願いを申し上げるしだいでございます。

今、様々な災害が多い事はご案内の通りであります。東日本大震災からは6年が過ぎました。熊本地震も1年が過ぎました。被災地の皆さんは、依然として大変厳しい環境にあることは、もうご案内の通りであります。私どもも一日も早い復興再生のためにはなんとしてでも全てをここに結集するような覚悟の中で、復興にあたっているわけであります。さらなる台風災害やあるいはゲリラ豪雨と様々な災害に対応していくためにも私どもは全力でこれからも皆さんとともにこの防災・減災対策に取り組んでいく覚悟でございます。

また、高規格道路の未整備区間の解消や暫定2車線区間の4車線化も極めて喫緊の課題でありますので、やるべきことが沢山ございますので、これまたしっかりと予算を獲得しながらこれらの整備に取り組んでいきたいと思っています。

ふるさと創生という言葉が出てからだいぶなります。先ほど申し上げた通り、地方の要望のほとんどがこの道路を中心とした国土交通省の関係予算であります。真のふるさと創生は、この様なハード面の整備が、やはりしっかりとしていかなくてはなりません。今、人工知能というものが、あらゆる分野に活用されており、車の自動運転もそうであります。しかしながら、道路の整備がなされなければ、どんなに人工知能が発展して自動運転が促進されたとしても、全て絵に描いた餅と言ってもいいわけでございます。

この様な観点の中から私ども、道路利用者の皆さんの様々な立場の中からサービスエリアの充実やパーキングエリアの活用、あるいは、スマートICの更なる促進、また、全国的に大変人気もあります、道の駅の整備と様々な立場の中から皆さんの要望を受け止めながら全力で頑張っていく覚悟でございますので、どうぞ皆さんの一層の団結とそしてまた、様々な活動を心からお願いを申し上げるしだいでございます。

参議院国土交通委員長として、大変非力でありますが、今まで以上に道路予算を中心とした予算をしっかりと獲得すると言う使命感を持ちながら、そして、古賀会長から話がありました通り、財特法の改正も私どもは責任を持って、これにしっかりと対応していきたいと思っているところでございます。

本日の第69回定時総会が、道路利用者の皆さんのために、地方創生のために、そして日本の経済の発展のために、しっかりと寄与するように頑張っていただくと同時に、重ねて私どもも一丸となって皆さんと協力していくことをお約束しながら、益々、皆様方のご健勝とご多幸と、この利用者会議がさらなるご発展をされますよう心からお祈りを申し上げまして、参議院国土交通委員長としての増子輝彦のお祝いのご挨拶にかえるしだいでございます。

来賓紹介

【参議院国土交通委員会】
増子輝彦委員長

【国土交通省】
末松信介国土交通副大臣、大野泰正国土交通大臣政務官、石川雄一道路局長、青木由行道路局次長、楠田幹人路政課長、上野純一道路交通管理課長、吉岡幹夫企画課長、川﨑茂信国道・防災課長、森山誠二環境安全課長、伊勢田敏高速道路課長、大野昌仁参事官

【高速道路会社等】
山内正彦（独）日本高速道路保有・債務返済機構理事、横山正則東日本高速道路（株）取締役兼常務執行役員・建設・技術部長、廣瀬輝中日本高速道路（株）取締役常務執行役員技術・建設本部長、前邦彦西日本高速道路（株）建設事業部部長、大庭孝之首都高速道路（株）計画・環境部長、岡本博阪神高速道路（株）取締役常務執行役員、金崎智樹本州四国連絡高速道路（株）取締役常務執行役員

【友誼団体】
谷口博昭（公社）日本道路協会会長

【国会議員・本人】

《衆議院議員》
伊東良孝、江﨑鐵磨、大岡敏孝、大口善徳、小田原潔、門博文、木内均、城内実、北村誠吾、櫻田義孝、鈴木貴子、武部新、竹本直一、中村裕之、比嘉奈津美、藤丸敏、堀井学、前田一男、松原仁、三ッ林裕巳、望月義夫

《参議院議員》
磯﨑仁彦、井上義行、井原巧、岩井茂樹、江島潔、大沼みずほ、上月良祐、古賀友一郎、佐藤啓、佐藤信秋、高橋克法、滝波宏文、塚田一郎、豊田俊郎、中泉松司、藤川政人、藤末健三、松下新平、松山政司、三木亨、三宅伸吾、森屋宏、山下雄平

【国会議員・代理】

《衆議院議員》
赤澤亮正、秋元司、麻生太郎、穴見陽一、阿部俊子、池田道孝、石川昭政、石田祝稔、石田真敏、石破茂、伊藤忠彦、伊藤達也、井野俊郎、井上信治、井上貴博、今津寛、今村雅弘、岩田和親、岩屋毅、江渡聡徳、大串博志、大隈和英、岡本充功、奥野信亮、小倉將信、小渕優子、尾身朝子、梶山弘志、勝沼栄明、勝俣孝明、加藤鮎子、加藤勝信、加藤寛治、金子万寿夫、金子めぐみ、金子恭之、金田勝年、神山佐市、亀岡偉民、鴨下一郎、河井克行、神田憲次、岸信夫、岸田文雄、北川知克、北村茂男、工藤彰三、興水恵一、小林史明、坂本哲志、笹川博義、佐々木隆博、佐田玄一郎、左藤章、塩谷立、階猛、柴山昌彦、島田佳和、菅原一秀、助田重義、鈴木馨祐、鈴木俊一、薗浦健太郎、高市早苗、高鳥修一、高橋ひなこ、武井俊輔、竹下亘、武田良太、田所嘉徳、棚橋泰文、谷公一、谷川とむ、田野瀬太道、田畑裕明、玉木雄一郎、津島淳、土屋正忠、土屋品子、角田秀穂、渡海紀三朗、冨樫博之、冨岡勉、長尾敬、中川郁子、長島忠美、中谷元、中谷真一、中根一幸、中野洋昌、中山泰秀、西村明宏、西村康稔、額賀福志郎、野田聖子、野中厚、野間健、鳩山二郎、濵地雅一、原田憲治、藤井比早之、古川康、古田圭一、細田健一、細田博之、堀内詔子、前川恵、牧島かれん、松浪健太、松本剛明、松本洋平、御法川信英、三原朝彦、宮内秀樹、宮崎岳志、宮路拓馬、宮下一郎、武藤容治、村岡敏英、茂木敏充、森英介、森山裕、盛山正仁、八木哲也、山口泰明、山下貴司、山本公一、山本幸三、山本有二、義家弘介、吉川貴盛、吉野正芳、渡辺博道

《参議院議員》
足立敏之、石井準一、石井浩郎、石井正弘、伊藤孝江、今井絵理子、大家敏志、岡田直樹、尾辻秀久、小野田紀美、金子原二郎、こやり隆史、酒井庸行、里見隆治、島田三郎、島村大、榛葉賀津也、関口昌一、園田修光、高野光二郎、滝沢求、伊達忠一、鶴保庸介、中野正志、中山恭子、二之湯智、野上浩太郎、野村哲郎、長谷川岳、羽田雄一郎、馬場成志、林芳正、平山佐知子、藤木眞也、古川俊治、堀井巌、舞立昇治、牧野たかお、松村祥史、溝手顕正、三原じゅん子、宮沢洋一、宮島喜文、宮本周司、室井邦彦、山口那津男、山田宏、山本一太、山本順三、渡辺猛之

【祝電】

《衆議院議員》
小川淳也、尾身朝子、漆原良夫、門山ひろあき、川端達夫、前原誠司、松本純、山口俊一

《参議院議員》
太田房江、森本真治

（敬称略）